

参考

參謀本部第二部（六、一〇、七）

張作霖及南京政府外交部長ニ與ヘタル覺書 昭和三年五月十八日

永年ニ亘ル支那戰亂ノ結果一般國民ノ生活ハ極度ノ不安ト困憊トニ陥リ支那在留外國人亦居ニ安ンシ業ニ從フニ由ナキ狀況ニアルヲ以テ戰亂ガ一時モ速ニ終熄シ統一セル和平ノ支那ヲ見ルニ至ランコトハ外支人ノ均シク熱望スル所ニシテ殊ニ支那ノ隣邦トシテ利害關係特ニ深キ帝國ノ翹望シテ措カサル所ナリ然ルニ今ヤ動亂京津地方ニ波及セントシ滿洲ノ地モ亦特ニ其影響ヲ蒙ラントスルニ至レル虞抑々滿洲ノ治安維持ハ帝國ノ最モ重視スル所ニシテ苟クモ同地方ノ治安ヲ紊シ若クハ之ヲ紊スノ原因ヲ爲スカ如キ事態ノ發生ハ帝國政府ノ極力阻止セントスル所ナルカ故ニ戰亂京津地方ニ進展シ其ノ禍亂滿洲ニ及ハントスル場合ニハ帝國政府トシテハ滿洲治安維持ノ爲適當ニシテ且有效ナル措置ヲ執ラサルヲ得サルコトアルヘシ然レトモ交戰者ニ對シ嚴正中立ノ態度ヲ持スヘキ帝國政府ノ方針ニ至ツテハ固ヨリ何等變改ナキ次第ナルカ故ニ右ノ如キ處置ニ出ツル場合ニ於テモ其ノ時機

0064

下方法ニツキテハ兩者ニ對シ何等不公平ナル結果ヲ生スルニ至ラサル様周
到ノ注意ヲ拂フヲ用意アルコトヲ確信ス

（以下は非常に淡く、ほとんど不可読な文字列が並ぶ）